

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	エントランスリパティ 池田教室			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		～	2025年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		～	2025年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な資格保持者や、経験者が支援に当たっていること によって、多角的な支援が可能となっている	・教室での活動報告を連絡帳で丁寧に言い、気になること に関しては、送迎時に口頭でお伝えして、電話や LINEなどで保護者と情報共有している。	・数年後の出口を意識した療育の積み重ねを行い、必要 な機関への接続や、情報提供を行うことをより一層 意識し、家族と共に利用者の将来を考えることで、家 族支援を深める。
2	・運動に適した部屋と個別活動も行える部屋がある。	・保育士や児童指導員を中心に身体づくりのためのプロ グラム提供を行っている。 ・公認心理師が常駐しており、心理面のケアを中心的に 行っている。 ・元教員や学校で介助員の経験が長い児童指導員が、学 習支援をきめ細やかに行っている。	・個々のスキルアップが目指せる研修への参加や、積 極的に新しいことに挑戦する職員を支える仕組みづく りを行うことで、事業所としての支援の厚みを増すこ とにつなげる。
3	・送迎を行っている。	・職員が真面目でひとつひとつ丁寧に作業を行ってい る。 ・事務的なことに関して、役割分担を行っている。	・ステップアップを目指したい職員を応援する仕組み づくりを整えていっている。 ・助言だけではなく、模倣から始め、実践できる環境 設定を行うことで、積極的にトライ＆エラーに挑戦し ていくことを可能とする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流会やきょうだい向けのイベント、その他地 域で他のこどもと活動する等の機会が提供できていない ・ペアレントトレーニングの提供がほとんどできていない	・ペアレントトレーニング等の、相談支援が行える職員が少な い。	・準備をしっかり行い、様々な「想定」を設定することで、 急な対応が必要となる場合でも「想定内」に留めていけると 考える。 ・職員のスキルアップを積極的に行うことで、「できるこ と」を増やし、自信をもって相談支援に当たれる環境づくり をしていく。
2	・屋外での活動が、行えていない。	・児童に誰がつくのか等の役割を綿密に計画出来ていないた め。	・利用者の数や、活動内容に応じてレイアウトを臨機応変に 考え、変更していくことで、デッドスペースを減らし、活動 の幅を広げることにつなげる。
3	・取り組み内容の発信力が弱い	・ホームページの更新体制が整っていない。 ・非常災害時の訓練が、不定期開催のため、実施の実態が届き きっていない。	・取り組み内容の発信に関しては、取り組みやすい方法を職 員で確認し、発信力を高める取り組みを行い、届く情報を増 やしていく。 ・避難訓練等の非常災害時の取り組みに関しては、定期的な 開催を定着させ、全ての利用者が訓練に参加する機会の提供 を行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 エントランスリハビリ池田教室

公表日 2025年4月2日

利用児童数 2025年3月 20日

回収数 21

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	4	2			・限られたスペースの中で、工夫して支援していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1		4		・適正な配置をし、支援を行っています。また、場合によっては、加配職員を配置し、より手厚い支援を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1		3		・引き続き、バリアフリー化や、構造化された空間づくりに努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	2		1		・引き続き、活動に合わせた空間づくりに努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	6			支援者により声掛けの違いがあると思います	・今後も適切な支援が続けられるよう、職員間で連携を密にしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	3				・今後もホームページやSNS等を通して、内容を周知していきます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	3	1			・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	2	1	1		・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1	1			・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	4			運動の中にダンス、エアロビクス、ラジオ体操など変化を加えていることで、子供が楽しんで参加している	・今後も適切な支援が続けられるよう、職員間で連携を密にしていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	6	5	私は不要だと考えています	・今後、他教室との交流機会だけではなく、地域の行事等に参加し、交流の機会を検討していきます。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1		1		・引き続き、丁寧に説明していきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1		1		・引き続き、丁寧に説明して参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	4	6		・今後、ニーズを踏まえて親子参加プログラムの実施を企画、検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	16	4				・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2	1			・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	5		1		・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2	3	7	8		・今後、ニーズを踏まえて親子参加プログラムの実施を企画、検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	3		3		・コミュニケーションを取りやすい環境整備を引き続き行っていきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	3	1	3		・引き続き、日々の活動において、きめ細やかに情報伝達をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1		7		・引き続き、日々の活動において、きめ細やかに情報伝達をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	3		6		・今後も慎重に取り扱っていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2		10		・訓練等の実施に関して、周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	3		11		・訓練等の実施に関して、周知していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	4	1	7		・訓練等の実施に関して、周知していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2	1	6		・速やかに連絡できるよう、普段から職員間で報連相を行うと共に、フローチャートに基づいた連絡体系を確認して取り組んでいます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	2		3		・通所することに期待を寄せていただけるよう、今後もし利用者により添った支援内容を提供していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	3	1	3		・通所することに期待を寄せていただけるよう、今後もし利用者により添った支援内容を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	2	1	3		・通所することに期待を寄せていただけるよう、今後もし利用者により添った支援内容を提供していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
エントランスリパティ池田教室		2025年 4月 2日				
		チェック項目	(はい)	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・ボールやバランスボールなどの使用を決めて事故を無くす工夫をしている	未就学と中学生が同じ空間で運動するため、すみわけや公園に行く改革が必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		・活動や人数に応じて、環境設定や職員の配置を調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		・パーテーションなどで区切れるものが欲しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・衛生面・掃除は徹底している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		片付けが必要である。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	・毎日振り返りの時間がある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		・アンケートを取り、話し合いの場を設け、改善につなげる必要がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		・朝礼や振り返りで意見交流をよりしていく必要がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		今後業務改善につなげるひつようがある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	・新入社員研修を実施している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・ホームページに掲載している。 ・活動内容を保護者にお伝えしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	・保護者に伺ったことを踏まえて作成している	スタッフ間で連携を取り、理解の共有を行う必要がある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	・カンファレンスをしている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・意見交流する場がある	一貫した支援を行えることが最善だと感じる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・都度、確認しながら行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	・ガイドラインを元に作成している	「楽しく過ごす」など多く具体的に乏しい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・朝礼時に実施	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・マンネリ化を防ぐために話し合いを行っている ・週ごとに活動内容を変更している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		利用者に合わせて聞き取りを行い作成する必要がある
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		詳細は役割分担は行えないため、改善が必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・終礼の際に振り返りを必ず実施している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・システムで記録管理を行い、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	・毎日のフィードバックや会議によって、状況を共有し、より良い支援につながるようにしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		・行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1		対処行動が多く、子どもの主体性は育みづらい環境改善が必要。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		・今後も参加していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	・関係機関連携を実施し、情報を都度連携している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	・地域の公園等で遊ぶ機会はあるが、交流会はしていない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	・情報は都度連携している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3	・家族に見学していただける機会に、支援方法等の共有や、家庭での支援をどのように行うか、提案している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・連携を取り、情報共有を行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		・積極的に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	3	・情報は都度共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	・情報は都度共有している	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2	・送迎の時間を利用するなどし、情報共有を常に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	2		今後、保護者会等、検討していく必要がある。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	2		もう少し詳しく説明していく必要あり。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	・保護者との面談を適宜、行っており、本人や保護者の願いを尊重した計画を立てている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		今後、保護者会等、検討していく必要がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	2		・相談等があった場合、スピード感をもって対応すると共に、職員間の報連相を徹底していく必要がある。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・イベントの案内等で活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・鍵をかけて厳重に保管している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・発語が難しい場合はジェスチャーなどで工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		行われていません。今後、検討していく必要がある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・策定し、ファイルにて保管している ・定期的に会議を行い、情報のアップデートを行っている。 ・避難訓練を定期的実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・策定し、ファイルにて保管している ・定期的に会議を行い、情報のアップデートを行っている。 ・避難訓練を定期的実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・契約時等、適宜行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・契約時に保護者より丁寧に聞き取りを行っている。 ・情報が更新された際には、職員間で情報共有を徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・都度、点検や確認を行いながら進めている ・定期的に研修や訓練を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・契約時に非常災害時の対応等、詳細に伝えられている。 ・日ごろから情報共有を行い、安全管理について周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・実施している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・定期的に研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・記載している。	